

20202砂利採取業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	15~16	工場内の1次側振動機下の地面で、スカート用のベルトを切断中、他の従業員のカッターの刃が滑り、ベルトを押さえていた被災者の左手中指の付け根辺りを負傷した。ベルトが硬くて切れにくかったので力を入れていたため、カッターが横に逸れて、刃で怪我をした。なお、軍手は着用していた。	64	8	379	10 ~ 29
2	2017	11	10~11	当社工場（砕石製造プラント・屋外）において、点検作業をしている時に、点検タラップに上る階段（4段）で足を滑らせ、前向きに転倒した際に腹部を強打し受傷した。	78	2	413	1 ~ 9
3	2017	11	10~11	当社砂利砕石場において、砂利洗浄選別作業中、ベルトコンベアに小さな鉄板が挟まり、それを取り除こうとした時に、右の手首が鉄板とぶつかり負傷した。	45	8	224	10 ~ 29
4	2017	11	8~9	原石ホッパとクラッシャーから延びる砕石を流すベルトがずれてしまったので、ずれを直す作業をしていた、ベルトを止めると直せない状態であったため、ベルトを動かしたまま作業をしたところ土砂を除去するために使っていた鉄筋棒が滑り、ベルトに右手が巻き込まれた。軍手をはめていたが、中指第一関節と第二関節の間を大きく肉が削がれ骨が見える状態の裂創及び薬指擦過傷を負った。	61	7	224	1 ~ 9
5	2017	7	8~9	製造工場内製造プラントの見回り中、作動中のベルトコンベアのローラーに付着したゴミがあった。ベルトコンベアが作動中に	41	7	224	10 ~

				もかからずゴミを除去しようと、右手を差し入れたところ右腕を巻き込まれ負傷した。				29
6	2017	7	11~12	プラントの場所でフルイ機の移動のため運搬車に積込中に玉掛を施工していてワイヤロップがはずれ本人と同時に転落した。(H=3.5m)	54	1	372	1 ~ 9
7	2017	6	14~ 15	プラント内、ベルトコンベアーでのモーター交換作業をしていた。足場を梯子で確保したが、不安定な状態でのボルト締め作業であった。結果、ボルトを締め過ぎたためボルトがちぎれ、梯子から後ろ向きで転落した。	55	1	418	10 ~ 29
8	2017	5	16~ 17	10tダンプで荷物を下ろし、帰社途中のカーブで対向車線のガードレールを突き破り2m位下の田んぼに落ち、首と腰を打撲した。	50	17	221	10 ~ 29
9	2017	4	10~ 11	取引先で荷物を降ろす為とダンプのシートを外そうとはしごに登っている途中、足を踏み外して転落し、胸を強打しあばらにひびが入った。	69	1	221	1 ~ 9
10	2017	4	17~ 18	弊社所有の敷地内において、作業後に重機（バックホー）から降りる際、クローラーシューから（クローラーシューから地面までは約90cm）とび降りたため骨折した。	58	3	142	10 ~ 29
11	2017	3	14~15	社の駐車場に止めてある生コン車の中にある書類を取りに行こうとして、事務所から歩いているときに、コンクリートの地面が濡れていたため、右足が滑って体のバランスを崩した。左足は治療のため力が入らず、右足を伸ばしたままで、左足は正座のように折れ曲がって尻もちをついた状態で倒れた。その後、左ひざがすぐに大きく腫れて痛み出した。	45	2	417	10 ~ 29
12	2017	3	15~16	土と石を選別する小型のトロンブル式選別機を稼働させていたところ、投入口に土がつまり、それをなんとかしようとして機械に登り、誤ってエンジンからつながるチェーンと歯車の間に左手指5本を挟み、5本とも負傷し、指2本を骨折した。	26	7	169	1 ~ 9

13	2017	3	10~11	検収所屋根の雨漏り修理のためタルキを止めるアングルを手に持ち梯子を上っていたところ、高さ2mぐらい上った途中でバランスを崩し、2m下の台と共に右肩を下にした状態で落下し、右肩と腰部を強打した。	74	1	371	10 ~ 29
14	2016	12	8~9	プラント修理でベルトコンベアーのベアリングが破損していたため、ローラーをチェンブロックで吊ってベアリングを変えようと、ロッド棒を渡して吊ろうと上げていたら、左側が滑り落ち、左母指を挟んだ。	37	7	361	1 ~ 9
15	2016	11	11~12	作業の報告を済ませて事務所2階から1階に下りる時、足元が引っかかり10段の階段の上部2段目あたりから落ちて背中を打ち背骨を骨折した。	62	1	413	10 ~ 29
16	2016	11	15~16	堆積場で被災者が堆積土砂から木の枝や鉄くずなどを、手で除去しているときに土砂が崩れ、首から下が埋もれた。	60	5	523	1 ~ 9
17	2016	10	7~8	強風により倒れたバリケードを撤収するため、4トントラックを運転して向かう途中、ハンドル操作を誤って路外に車ごと落ち、頭部、顔を負傷した。	56	17	221	1 ~ 9
18	2016	7	14~15	工場内プラントにおいて、プラントより事務所に戻る為階段を下りようとして、手前で足元が滑り約2m強の高さから転落し、頸椎及び顔面を負傷した。	46	1	413	10 ~ 29
19	2016	6	15~16	次の作業に移るため、徒歩で移動中、梯子を下りていて誤って左手が外れてしまい、1.5mの高さから転落した。	64	1	371	10 ~ 29
20	2016	3	13~14	竹林において、道路の視距確保のため、竹を伐採していたところ、切り倒した竹の切り口が一部残っていたので切ろうとした。竹がしなっていたのは気付いていたが、思っていた以上に跳ね返り、顔面を強打し目を負傷した。	61	6	712	1 ~ 9

21	2016	2	11～ 12	ダンプを移動しようとした時、動かなかった為に、サイドブレーキが凍ったと思いダンプアップし、フレームの中のミッション付近でサイドブレーキの調子を確認していたら、なんらかの事情により（ダンプ）荷台が降下しミッションと荷台の間にはさまれてしまった。	50	7	221	1 ～ 9
22	2015	12	8～9	高さ1.8mのコンクリート擁壁の嵩上工事において、三脚を使用して既設擁壁に電動ドリルで型枠を留める穴の削孔作業中にバランスをくずし、高さ1.0mの三脚から後方に落下し、右手をついた際に手の平を強打して親指の付け根を負傷した。	40	1	371	10 ～ 29
23	2015	11	10～ 11	公園付近の埋立地において、ダンプで土搬入のためバックしたところスリップし、予定よりも後ろに下がってしまい、鉄板と一緒に深さ2メートル位の穴に落ちた際、肩に力が入り、肩を負傷した。	46	1	221	30 ～ 49
24	2015	9	4～5	砂を揚げる為、船のラダー通路（幅30～40cm）に立ち、砂落下防止シートを張る為のロープを陸へ投げた時、バランスを失い足を踏みはずして、ラダーとコーミングの隙間に落下した。	54	1	239	1 ～ 9
25	2015	9	13～ 14	原炭の中出しの為11tダンプに原炭を積載し、荷台のシートをかけるため作業して終了したところ、サイドブレーキが甘かったため急に発進し、被災者は荷台につかまりながら沢に転げ落ち負傷した。	68	1	221	10 ～ 29
26	2015	8	11～ 12	油圧ショベルで真砂づくりの作業をしているとき、油圧ショベルのドアに手をかけて降りようとしたところ急に風が吹いてドアが閉まり、右手中指と薬指を挟み負傷する。	18	7	142	1 ～ 9
27	2015	8	11～ 12	砂利選別プラントの原石投入口で石の選別作業中に体調が悪くなった。	49	11	715	10 ～ 29
			14～	砂利製造施設で、製造中にグリズリースクリーンに石がはさまり、振動モーターを停止して大ハンマーで石を叩いて落としてい				10

28	2015	7	15	た時、上の原石ホッパーより石が落ちて来て、右足のつま先に当たった。	66	4	419	～ 29
29	2015	4	11～ 12	採石場より4tダンプに原石を積み、第一プラントに持ち帰る際、何らかの事情で車から降り、そのダンプに轢かれたと思われる。	56	17	221	10 ～ 29
30	2015	3	10～ 11	砕石工場プラント作業場において、25 t 重ダンプに製品を積み運搬作業中荷下ろし場所でバックをしていたところ、後ろに下がりすぎ、歯止めを乗り越えて転落した。	67	1	221	10 ～ 29
31	2015	3	11～ 12	高圧散水ホースを使ってコンクリートの沈殿槽の清掃をしていて、高さ約4.5mの鉄骨の足場から転落した。	74	1	414	1 ～ 9
32	2015	3	9～ 10	洗砂製造設の原料ホッパー内に目詰まりが生じ、それを解消する作業中に突如詰まりがとれた為、原料砂と一緒に滑り落ちてホッパー内で埋もれた。	55	5	391	10 ～ 29
33	2015	2	17～ 18	プラント内で機械のそうじ中、午前中の雨で土が泥化していて長靴の底や機械に付き足をすべらせ落下した。	41	1	169	10 ～ 29
34	2015	2	8～9	プラント場内においてパワーショベルの始業前点検時、重機から降りる際に右足着地後、バランスを崩して転倒。その際に右膝を重機キャタピラーに強打した。	61	2	142	10 ～ 29
35	2015	1	9～ 10	取水場所のゴミを取る為に現場へ向かっていた雪が降っていて斜面がすべり左膝を強打した。	53	2	419	10 ～ 29
36	2014	12	13～ 14	水中ポンプのホースを交換後、ポンプのスイッチを入れる為、高さ4.3m幅50cmのコンクリート製擁壁の上部を通り、電気室へ向かう途中、高さ1.5mの段を上ろうとしH型鋼を掴もうとしたが手を滑らせ転落、肋骨を骨折した。	24	1	418	10 ～ 29

37	2014	12	16～ 17	除雪作業を終了し、プラント洗車場にて、ロータリー除雪車を洗車中、ロータリーのオーガ上部の雪を取り除く作業をしていた所、足を滑らせフレームに脇腹を強打し負傷した。	51	1	149	30 ～ 49
38	2014	11	15～ 16	作業に必要な足場を広げる為、アングル&エキスパンドを加工溶接しようとしていたところ、足場の確保が出来ていない場所に足を落とし入れてしまい、バランスを崩して転倒した際、作製・取り付け済みの足場の鉄チャンネルに腹部を強打した。	62	2	419	1 ～ 9
39	2014	10	13～ 14	砕石を砕く機械装置が故障していたので、その修理を手伝うため、その装置の設置してあるコンクリート台の上に上り、カバー（約1m×約1.5m）をはずすためワイヤーをかけようとしたときかけ損ねてバランスを崩し、コンクリート台から約1.8m下の地面に後ろ向き状態で落下し、仰向けに転倒、肩部、背中、腰部を打ち負傷。（ヘルメットは着用していた。）	56	1	418	1 ～ 9
40	2014	10	15～ 16	砂利プラントのベルトコンベア部分に異変が生じたため、ベルトコンベア脇通路より点検、確認をしていたところ、ベルトコンベアドラムの回転軸に右足が巻き込まれ右足首を損傷した。	59	7	224	1 ～ 9
41	2014	9	13～ 14	砕石プラント内でベルトコンベアプーリーへベアリング交換中、古いベアリングの内輪を取り除くため、グラインダーで切れ目を入れた後、タガネを使って叩いた際、金属片が左目に飛び込んだ。保護メガネは着用していなかった。	56	4	364	10 ～ 29
42	2014	8	9～ 10	20mmアンダー取り出しコンベアのテールスカート部後方の泥を除去して戻ろうとして体を半回転したところバランスを崩し、右手をベルト上につき、フォローに入った左腕がベルトの中に入りテールローラーに巻き込まれた。近くにあったバールでベルトを浮かし左腕を引き抜いた。医療センターに搬送されたが左腕を肘上より切断された。	61	7	224	10 ～ 29
43	2014	7	9～	ブルドーザー洗車中、洗車ホースに足を取られ転倒し、左手親指	72	2	379	10 ～

			10	を骨折した。					29
44	2014	6	13～ 14	がれきの破砕施設にある破砕機の部品交換中、カバーを開けて中央部のハンマーと呼ばれる部分をチェンブロックで吊上げをするとき、固着していたパーツが一気に外れて、その勢いで内部にいた被災者の方に振れてきて、自分の身体を支えていた右手が、機械本体と触れてきたパーツに挟まれた。	57	7	361		10 ～ 29
45	2014	6	12～ 13	製品堆積用ベルトコンベアの駆動部のグリスニップルより油を補給しようとした。グリスニップルの穴にごみが付着していた為、布(ウエス)でふき取ろうとして、 sprocket(歯車)の横から左手を入れたところ、ベルトコンベアを停止していなかった為、布(ウエス)と共に左手が sprocket(歯車)に巻きこまれ、左手の指4本を切断した。通常ゴミはグリスガンの先端で取り除くので、機械に手を差し入れることはなく、手を巻き込まれる危険はない。しかしその日に限って、布(ウエス)を持ったまま手を機械に差し入れてしまったのが主な原因。	50	7	224		1 ～ 9
46	2014	5	12～ 13	船首側デッキにてクレーンのローラーフックのグリスアップ作業中、クレーン台の中段(1.5m、柵なし)から転落、負傷した。	65	1	211		1 ～ 9
47	2014	5	8～9	路側法面にて、立木の伐採作業を高所作業車を用いて高所の枝から順次チェーンソーで切り落とし、落ちた枝を運搬車に積み込み作業中、チェーンソーの刃が締まりがちで苦労してたので、手助けしようとして伐採中の木に近づいたところ、伐採した木が倒れてきたため、逃げようとしたが、地表の草に足をとられ転倒し、さらに地表で跳ねた木が当たり、負傷した。	45	4	136		10 ～ 29
48	2014	4	11～	砂利プラントにて、ミニバックホーで整地作業をし、作業終了後に重機置場へミニバックホーを戻す為移動していたところ、土でできた高さ15cmの段差を乗り越える際、ミニバックホーが前に	44	1	142		10 ～

			12	傾き、一時的な作業と思いシートベルトを締め忘れていた事もあり、運転席の前面からミニバックホーの前面に落ち、体の左側を地面に打ちつけ負傷（左肘脱臼骨折）した。				29
49	2014	3	10～ 11	砕石プラント操作室西側原石運搬車荷あげ場所前広場にて、被災者は粉塵防止のため散水しようとして操作室から出て25Aバルブを開き6m先のビニールホース先端部に手をかけようとしたとき、転倒して右足首付近を骨折した。	49	2	417	-
50	2014	2	14～ 15	機械に水をかけようとして、ホースに足が引っ掛かり転倒し、左手をついて手首を痛めた。	65	2	417	1 ～ 9
51	2014	2	7～8	事業所駐車場に車を止め、再び車に戻り助手席側を歩いていた時、滑って転倒し、左大腿骨を骨折した。	67	2	719	10 ～ 29
52	2013	12	10～ 11	水中ポンプのホース（Φ15cm、L20m）を3人で引っ張る作業中、一番後方で引っ張っていたところ、斜面に足をとられ、草の根に足首をぶつけ、負傷した。	73	19	711	10 ～ 29
53	2013	12	14～ 15	防護柵の修理作業中、誤って油圧ショベルに近づき過ぎた為、搭載中のパイプの先に頭部が当たり、転倒した。	37	3	142	1 ～ 9
54	2013	11	9～ 10	ミキサー車のホッパーを整備中、ミキサー車のタイコを少し回した際、ホッパーを止めていたロープが切れ、ホッパーが頭に当たった。	50	6	221	1 ～ 9
55	2013	11	16～ 17	チェーンに油を注していたところ、足場から足を滑らせ、ローラーに足を挟んだ。	36	7	391	10 ～ 29
56	2013	11	13～ 14	油圧ショベルのオイルやラジエーターの水の残量を点検する為、油圧ショベルの上に乗る、作業していた際、誤って地面に転落し	63	1	142	1 ～

				た。				9
57	2013	11	16～ 17	重機に乗り込む際、キャタピラー部に足を乗せたところ、付着していた砂で足を滑らせ、バランスを崩し足から落下し、足首を骨折した。	40	1	142	50 ～ 99
58	2013	10	8～9	鉄工所にて、扉(鉄製スライド式)を締めようとした際、対の扉との間に手親指を挟み、骨折した。	25	7	419	30 ～ 49
59	2013	10	11～ 12	採石場内にて、歩行中、降雨により足を滑らせ、転倒し、手を着き、手首を骨折した。	61	2	417	1 ～ 9
60	2013	10	10～ 11	砂利プラントのベルトコンベアーから異常音が生じていた為、ベルトコンベアー脇通路より点検確認を行った際、ベルトコンベアドラムの回転軸に足が巻き込まれ、足親指と足人差指を骨折した。	36	7	224	10 ～ 29
61	2013	10	13～ 14	砂利プラントを操作中、コンベアのベルトとローラーに挟まれて死亡している被災者が発見された。	45	7	224	1 ～ 9
62	2013	9	10～ 11	油圧ショベルのバケツを交換中、確認しようとバケツを見に行ったところ、バケツ固定ピンが被災者の足の上に落下し、骨折した。	41	4	142	10 ～ 29
63	2013	8	14～ 15	丁張りの杭を抜く作業中、杭が折れ、勢い余って後ろにあったU字溝に肋骨を打った。	61	2	419	50 ～ 99
64	2013	6	9～ 10	砂を洗う過程のベルトコンベアローラに砂が溜まった為、スコップと手で砂を取り除こうとした際、ベルトコンベアローラに腕が挟まり、巻きこまれ、切断した。	31	7	224	1 ～ 9
			10～	クラッシャー基礎台の昇降する階段から手すりに落下。肋骨骨				10

65	2013	5	11	折、外傷性気胸を負った。	61	1	413	～ 29
66	2013	4	0～1	作業中、重傷を伴う事故を経験した。治療のため入院していたが、退院後、息苦しさや不安感、動悸等を生じるようになった。	33	90	921	10 ～ 29
67	2013	2	13～ 14	ダンプカーから降りる際、降雨のため、手が滑り、約2m下へ落下。踵を負傷した。	48	1	221	1 ～ 9
68	2013	2	9～ 10	砂利選別プラントにて、ベルトコンベアとシュートの間の氷を落とそうタイヤショベルをベルトコンベアの近くで止め、バケツの中に砂を入れ、タイヤショベルのバケツに片足とシュートにもう一方の足をかたところ、氷がシュートにかけていた足に落下した。	56	1	141	1 ～ 9
69	2013	2	8～9	ホイルローダーで駐車場の除雪作業中、ホイルローダーの首を前後させながら作業していた為、腰を痛めた。	53	19	921	1 ～ 9
70	2013	1	7～8	砂利プラントにて、砂利搬送用コンベアのローラー付近に積もった雪を除去しようとホースで水をかけた際、ホースがコンベアローラーに巻きついた為、取り外そうとホースを引っ張ったところ、掴んだまま腕をコンベアローラーと鉄板の間に挟まれた。	33	7	224	10 ～ 29
71	2013	1	15～ 16	砕石プラント工場にて、ベルトコンベアを清掃中、ベルト上に小石を発見し、スコップで取り除こうとしたところ、巻きこまれ、スコップの柄とアングルの間に指を挟まれた。	40	7	224	10 ～ 29
72	2012	12	10～ 11	山林にて作業中、ドラグショベルから降りた際、篠に足を取られ転倒し、骨折した。	43	2	712	1 ～ 9
				岩から砂を作る事業場にて、岩を砕く機械の側面の板にひびが				

81	2012	4	17～ 18	生コン車のシュートを格納した際、シュートに添えていた手が固定用ストッパーに挟まれ、手の人差指と中指を負傷した。	51	7	221	30 ～ 49
82	2012	4	18～ 19	砂利採取地内にて、高さ1 m位のブルトーザーの鋼鉄製キャタビラに上がって、散水車の散水ホースにより、ダンプカーの土を水で流す作業中、負傷した。	68	3	141	10 ～ 29
83	2012	3	9～ 10	ベルトコンベヤー運転中、ドラムの土砂を取り除こうとして鉄パイプを持って作業中、鉄パイプがベルトコンベヤーに巻き込まれ、被災者が約3.9 m下に墜落し負傷した。	54	1	418	10 ～ 29
84	2012	3	11～ 12	砂利出荷の予定がなかったため、プラント内で待機時間中、タイヤショベルの運転席から降りようとして外に出た際、足を滑らせ、前のめりに頭から転落し、負傷した。尚、エンジンは停止していた。	61	1	141	1 ～ 9
85	2012	2	10～ 11	構内において、ホッパーの側面（タテ1.2 m、ヨコ1.0 m、厚さ9 mm、重さ50～60 kgの鉄板）を張り替えようと持ち上げた際、腰を痛めた。	47	19	921	1 ～ 9
86	2012	2	9～ 10	河川改修工事現場で置いてあったブロックを置き換えようとしてトラッククレーンで吊り上げ作業を行っていた際、ブロックが揺れたため、ブロックの揺れを止めようとし、側にいた被災者がブロックに手を掛けたが止めきれず、ブロックに手を掛けたまま押されるようにして、吊っていたトラッククレーンの側面ボディーとの間に手をはさまった。	61	7	523	10 ～ 29
87	2012	1	15～ 16	産業廃棄物中間処理場の地下ピットにて、作業終了後、コンベアーのローラーに挟まれた。	31	7	224	1 ～ 9
88	2012	1	13～ 14	砕石プラント内にて、生産作業中、ベルトの蛇行が気になり、調節中に誤って（ゴム手袋装着）がベルトコンベアに巻き込まれ、手を負傷した。	36	7	224	1 ～ 9

89	2011	12	10～ 11	A砂利採取場内で、水中ポンプ移動の為ドラグショベルの釣り下げ用具で水中ポンプを上げるとき、ポンプをつった鎖が切れ、落ちた反動でフックがゆれ、ヘルメットがとび頭に当たった。出血がひどかったので病院へ行った。	55	4	372	1 ～ 9
90	2011	12	10～ 11	Aで、洗砂機械から砂を運ぶベルトコンベアを運転中、ローラーに固く張り付いた雪をスコップで取り除いていたとき、スコップがベルトとローラーの間に巻き込まれスコップの柄が跳ね、左上腕部に当たり負傷した。	65	7	224	1 ～ 9
91	2011	12	11～ 12	会社で修理作業をしているときに鉄板を足の上におとした。	42	4	224	1 ～ 9
92	2011	11	8～9	クレーン付ドラグショベルで、ダンプの荷台上で鉄板（1.5m×3m×22mm）を積み込む補助作業に従事中、1枚目の鉄板と2枚目の鉄板の間にかませ物をしようと鉄板に近づいたところ、積み降ろそうとした2枚目の鉄板が突然揺れ、その際鉄板とダンプのボディの間に左ひざが挟まれ、負傷した。	67	7	212	10 ～ 29
93	2011	10	10～ 11	A構内で砂利採取プラント点検・修理中、2m位のところから足を踏みはずし、左足膝を負傷した。	53	1	418	10 ～ 29
94	2011	9	13～ 14	プラント内のインベラ（碎石の角を取り丸くする機会）の台で修理中、台の上に置いてあった修理道具を踏んでしまい、滑って台から落ちた。	70	1	416	10 ～ 29
95	2011	7	10～ 11	建物横へ熱中症予防のテントを設置中、高さ2Mの梁から足を滑らせ、腰から転落した。	60	1	418	10 ～ 29
				被災者は、同僚2人とインペラブレイカー内部のライナー交換作業に従事していた。ライナー交換作業を終了し、ベルトカバー				

96	2011	7	16～ 17	(幅約40cm)の上に乗し、ふたのボルトを締めていた。締め終わるとともに足を踏みはずし、後ろ方向へ転落。120cm下の機械基礎の上に落ちたが、勢い余ってさらに下に落下し、負傷した。尚、本人は暑かった為ヘルメットのあごひもをゆるめ、Tシャツ姿で作業をしていた。	45	1	162	1 ～ 9
97	2011	6	11～ 12	前回の怪我から1ヶ月も経っていない為、会社の敷地内の整理をしていて、部材を持とうとしたら痛みを感じた。	18	19	611	10 ～ 29
98	2011	6	8～9	プラント集じん機のロータリーバルブの排出口及びスクリーコンベアーが詰まり、工具を使って取り除いていたところ、ロータリーバルブに工具が引っかかり示指(第1関節)をロータリーバルブ本体に挟んでしまった。	32	7	224	10 ～ 29
99	2011	6	15～ 16	製砂作業場にて、プラントの停止操作をしようとしたところ、通路内にある縦58cm、横47cm、深さ107cmの開口部に足を踏外し、脇腹を強打した。開口部は修理時の作業口として使用している。普段は蓋がしてあるが振動で外れていた。	58	1	414	1 ～ 9
100	2011	5	16～ 17	当社工場にて10tダンプカーで、製品移動中にダンプの荷台を降ろし忘れて、カルバード(トンネル)上部に接触した際に、右足と頭と腰をハンドル等に打ちつけた。	60	3	221	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例\(-2017年\)](#)に戻る。